

平成30年度

危機管理 マニュアル

事故発生時の緊急体制	1
大規模地震時の対応【在校時】	2
大規模地震時の対応【各種】（在宅時 登下校中 校外学習など）	3
火災発生時の対応	4
浸水情報を入手した時の対応	5
不審者侵入時の対応	7
不審者情報を入手した時の対応	8
熊の出没に対する対応	9
鳥インフルエンザに対する対応	10
暴風・大雪警報・注意報を入手した時の下校時の対応	11
落雷警報・注意報を入手した時の下校時の対応	12
弾道ミサイル情報に係る緊急時の対応	13

平成30年10月19日改訂

北上市立 **いわさき** 小学校
いわさき小学校 P T A

緊急時の対応について

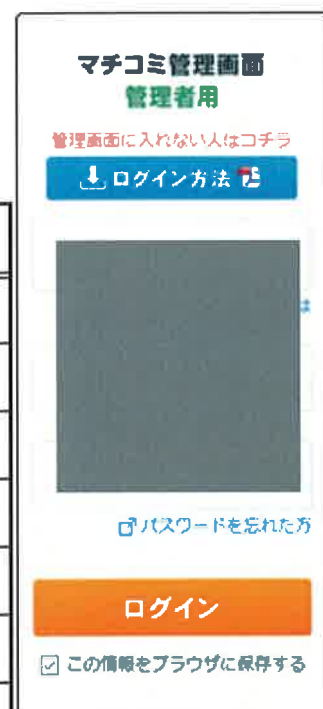
- 1 各種緊急時には、本マニュアルに沿って速やかに初期対応を行う。
- 2 休校・遅延登校などの措置をする時は、和賀東中学校区で統一する。
(和賀東中学校長、和賀東小学校長、いわさき小学校長で協議して措置を決定)
- 3 メール配信は、「マチコミ」を利用する。

URL	https://machicomi.jp/admin/login.html
-----	---

※学校のパソコン以外からも、ログインできる

- 4 地区連絡網は、電話を利用する。(学校→地区委員長)

	地区委員長名	児童名		電話番号
		学年	名前	
岩崎1区1班				
岩崎1区2班				
岩崎2区				
岩崎3区				
煤孫				
新田1区				
新田2区				



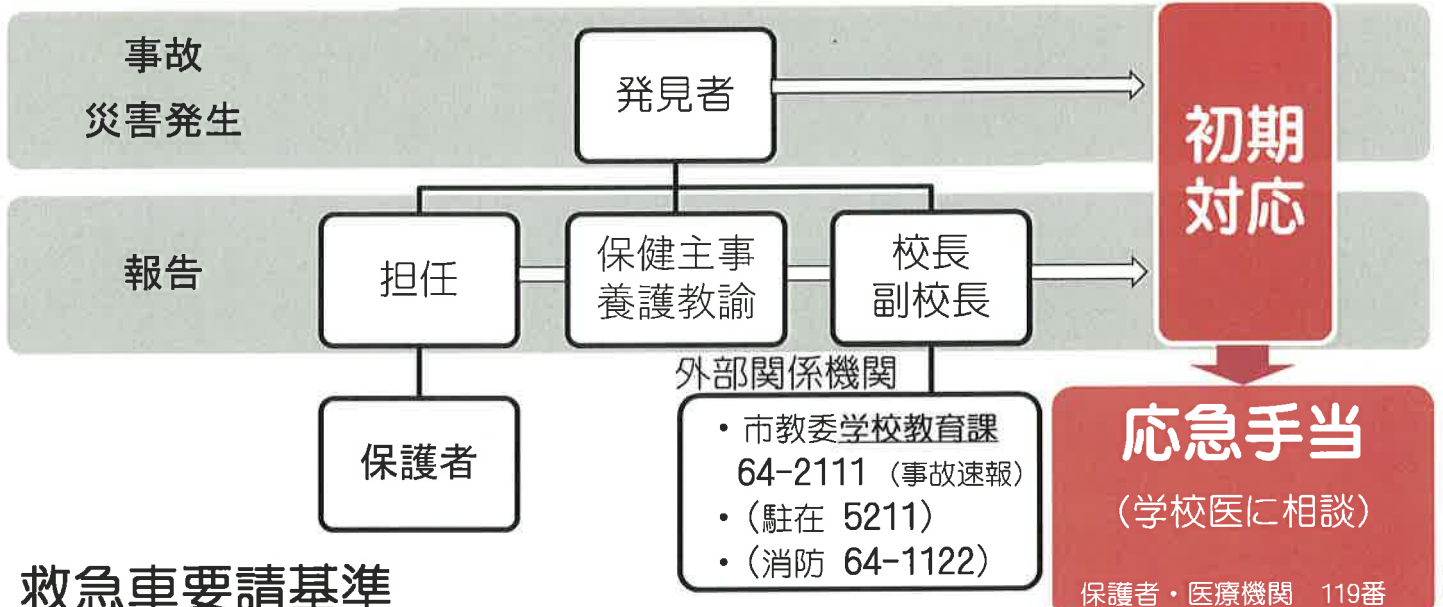
【ログインのための情報】

(連絡網は、各地区の地区長から4月上旬に提出してもらい、PTA総会後に連絡訓練を実施し、緊急時に機能するようにしておく。)

事故発生時の緊急体制

基本対応

- 現場に行き状況確認し、児童の人的被害を確認する
- 医療機関か救急車かを速やかに判断する



救急車要請基準

頭

- ◆ひどい頭痛でけいれん
- ◆頭を強くぶつけ、出血が止まらない
- ◆意識がない
- ◆頭をぶつけて、一度でも嘔吐した

顔

- ◆唇が紫色で呼吸が弱い

胸

- ◆激しい咳や、ゼーゼーして、呼吸が苦しく、顔色が悪い

おなか

- ◆激しい下痢や嘔吐で、水分が摂れず、食欲がなく、意識がはっきりしない
- ◆激しいおなかの痛みで、苦しがり、嘔吐が止まらない

手足

- ◆手足が硬直している
- ◆(骨折など) 骨が変形している

外部関係機関

- ・市教委学校教育課 64-2111 (事故速報)
- ・(駐在 5211)
- ・(消防 64-1122)

学校医

- ・内科 村上淳子 済生会病院 64-7722
- ・眼科 藤田聡 藤田眼科 71-5222
- ・耳鼻科 水川敦裕 みずかわ耳鼻咽喉科 72-6760
- ・歯科 安達孝二 あだち歯科クリニック 72-6789
- ・薬剤師 福盛田 サンケア薬局62-3331

応急手当

(学校医に相談)

保護者・医療機関 119番

医療機関

(保護者が対応)

救急車手配

(職員1~2名同乗)

意識障害

- 意識がない
- 返事ががない (もうろうとしている)

けいれん

- 止まらない
- 止まっても意識が戻らない

誤飲

- 変なものを飲み込んで意識がない

じんましん

- 虫に刺されている
- 全身に出て、顔色が悪い

やけど

- 痛みがひどい
- 広範囲である

事故

- 水に溺れた
- 高所から転落した

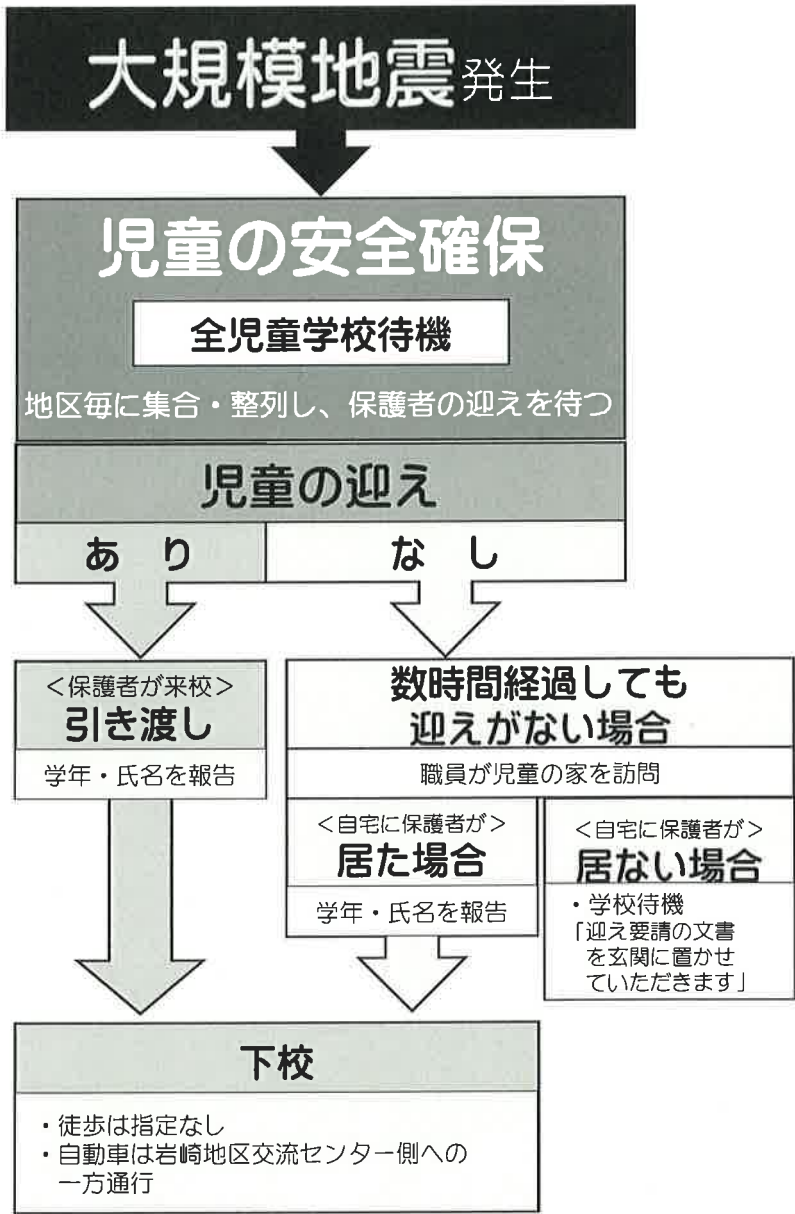
大規模地震時の対応【在校時】

初期対応	《情報発信》	○メールで緊急一斉送信・地区連絡網による電話連絡	全児童学校待機
	《確認》	○児童の人的被害を確認 ○施設・設備・通信手段の被害状況を確認 ○発生地震についての情報収集 ○学校周辺の被害状況及び避難場所を確認	迎えの要請
	《避難》	○校庭に一時避難	

1 対応の概要

(連絡方法)

メール配信
・学校→保護者 迎えの要請 (一斉配信)
地区連絡網
・学校→地区委員長 →保護者へ電話連絡 迎えの要請
関係機関への情報提供
・学校→学童保育所 (8009)
・学校→岩崎地区交流 センター(6076)
・学校→いわさき認定 こども園(8111)
・学校→教育委員会 教育部総務課課長補佐 (64-2111内線3451)



大規模地震時の対応【各種】

初期対応

- 児童の安全確保
- 保護者への引き渡し
- メールで緊急一斉送信・地区連絡網による電話連絡

- 児童の安全確保
- 保護者への引き渡し

1 対応の概要

(連絡方法)

メール配信

- ・学校→保護者
(一斉配信)

地区連絡網

- ・学校→地区委員長
→保護者へ電話連絡

関係機関への情報提供

- ・学校→学童保育所
(8009)
- ・学校→岩崎地区交流
センター(6076)
- ・学校→いわさき認定
こども園(8111)
- ・学校→教育委員会
教育部総務課課長補佐
(64-2111内線3451)

大規模地震発生

(児童)

在宅時

(職員)

※震度5以上

校長・副校長・校務技能員
のみ速やかに出勤

- ・学校の被害状況確認
- ・メールと地区連絡網
(内容)

- 1 保護者の管理下で、児童の安全を確保すること
- 2 学校から連絡があるまで、児童を自宅で待機させてほしいこと

登下校
中

通学路に出る

- ・通学路に出て、児童の安全確保と避難誘導
- ・登校した児童の安全確保
- ・保護者への引き渡し
- ・メールと地区連絡網
(内容)

- 1 保護者は通学路に出て児童の安全確保と避難誘導をすること
- 2 登校した児童を学校に引き取りに来てほしいこと

校外学
習など

児童とともに行動

- ・児童を安全な場所に避難させ、安全に帰校させる
- ・保護者への引き渡し
- ・メールと地区連絡網
(内容)

児童を学校に引き取りに来てほしいこと

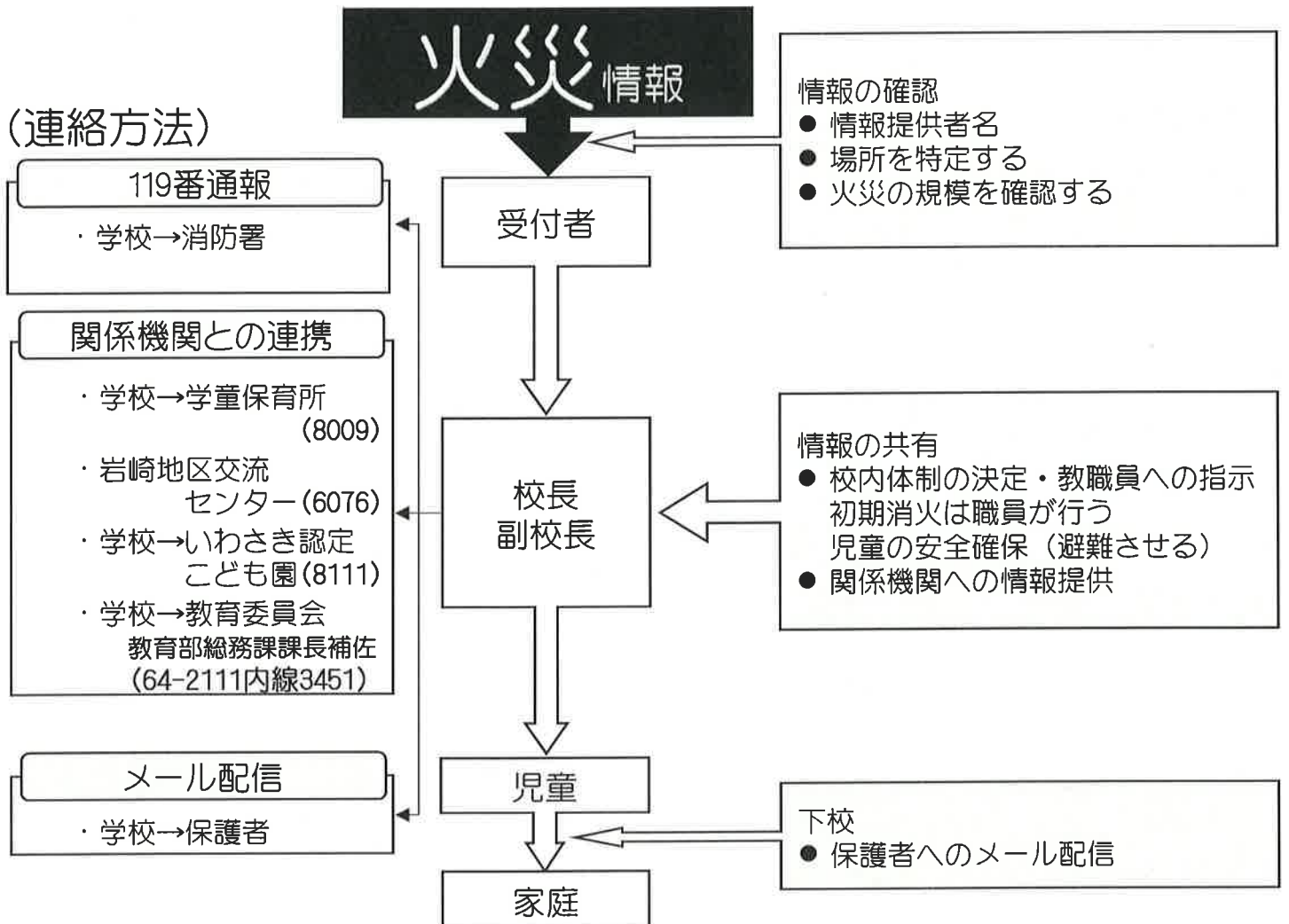
火災発生時の対応

基本
対応

- 情報収集・情報提供を素早く行う
- 初期消火は職員が当たる
- 児童を校庭に避難させる

避難経路は最短経路

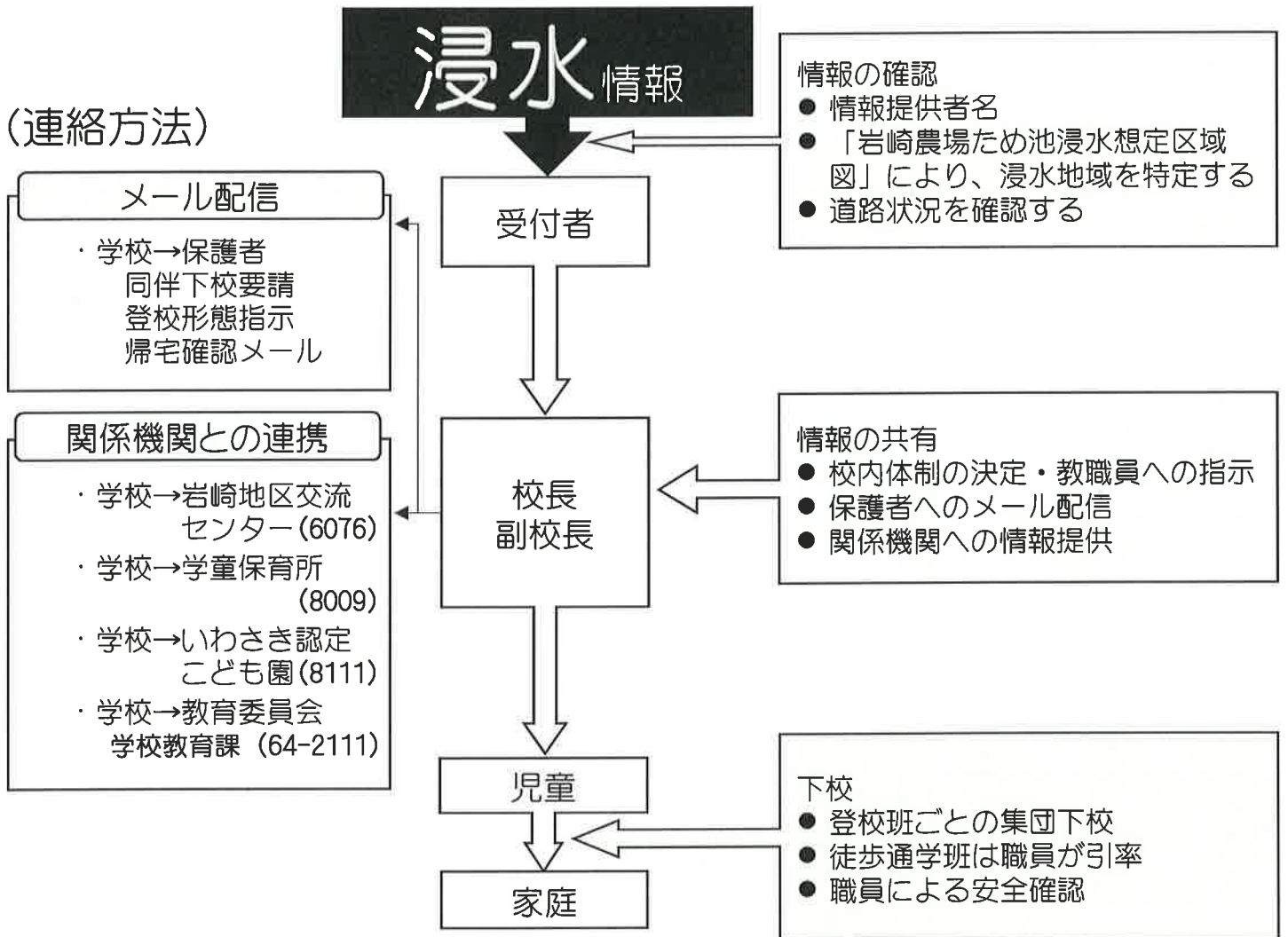
1 対応の概要

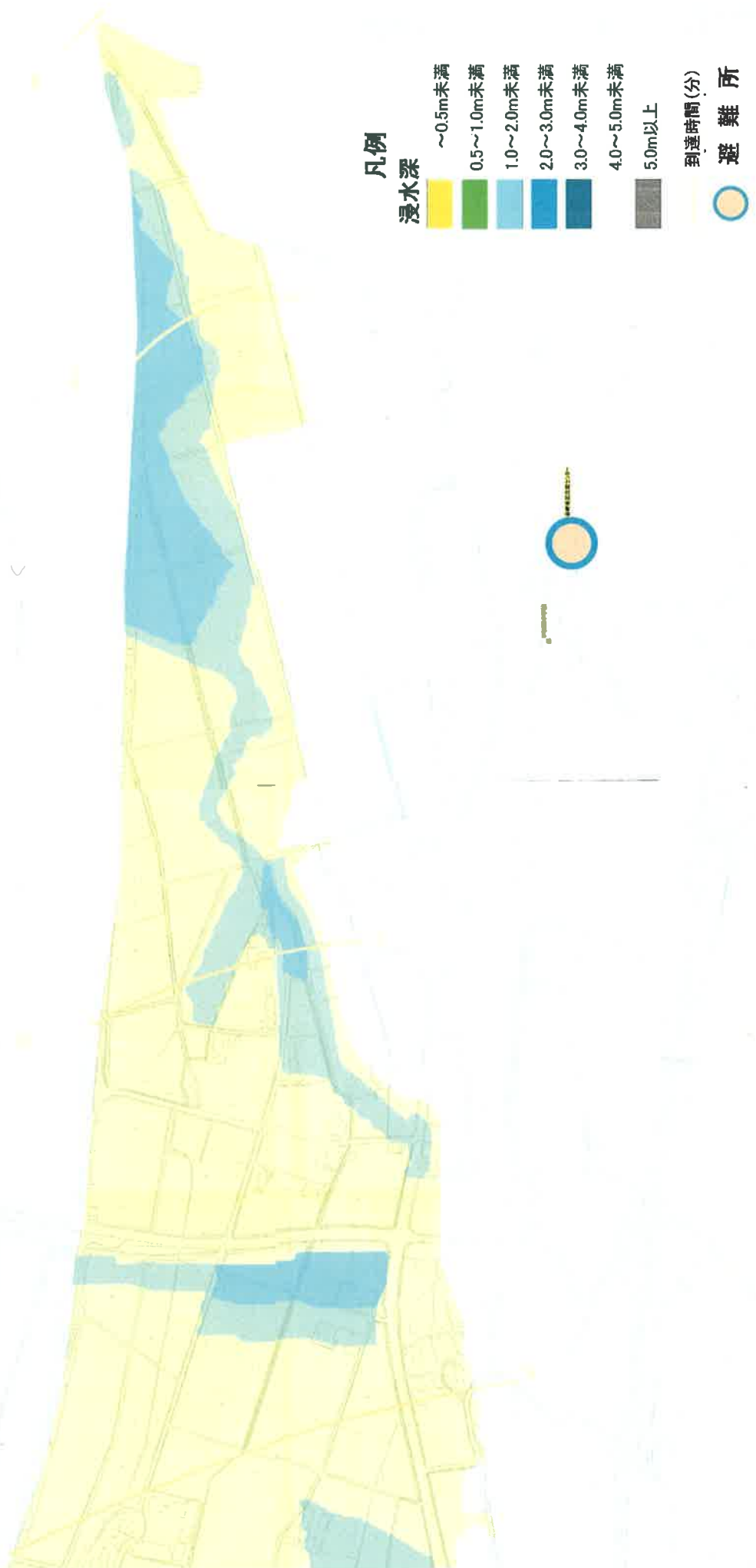


浸水情報を入手した時の対応

- 基本対応**
- 情報収集・情報提供を素早く行う
 - 必要な場合は集団下校
 - 保護者の協力を要請する
 - 第1避難所の岩崎地区交流センターと連携を取る
- 「岩崎農場ため池浸水想定区域図」を準備

1 対応の概要





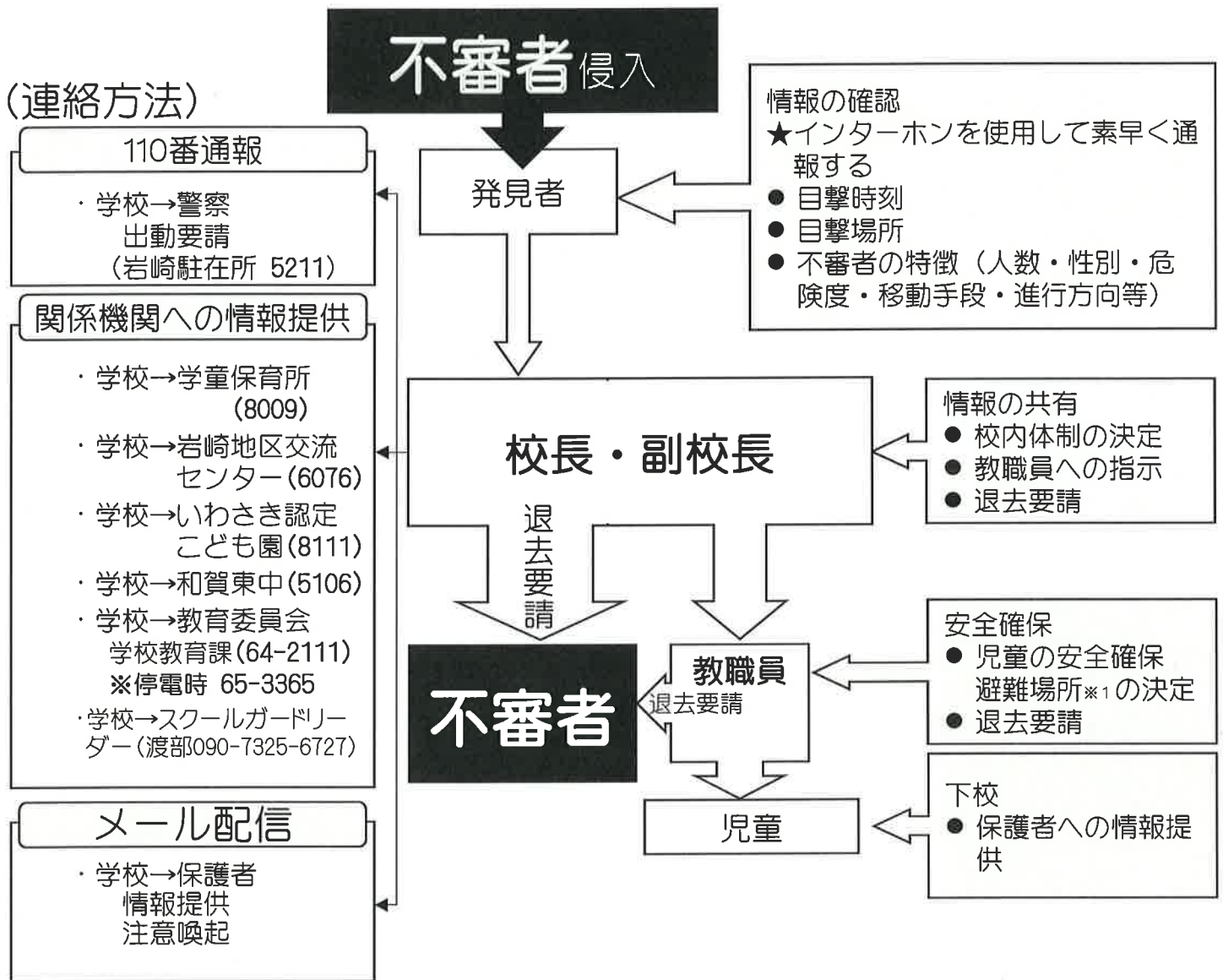
岩崎農場ため池浸水想定区域図 4

不審者侵入時の対応

基本対応

- 通報・情報提供を素早く行う
- 退去要請
 - ・複数の職員で対応
 - ・できるだけ児童のいる教室側へ行かせない
- 児童の安全確保

1 対応の概要



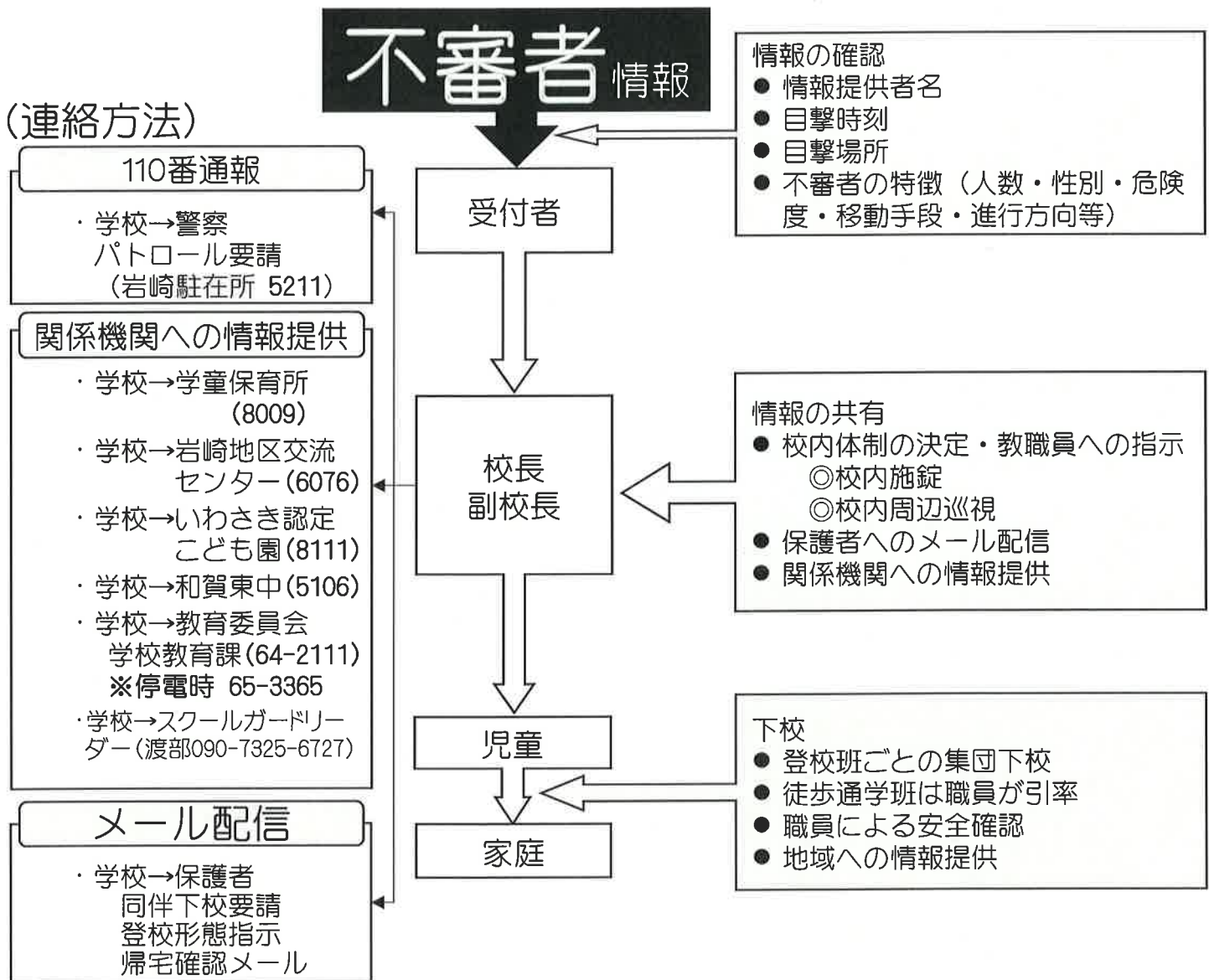
※1 避難場所は、不審者が近づけない場所（教室、体育館など）で侵入可能な経路を予想しできる限り施設等をする。

不審者情報を入手した時の対応

基本
対応

- 通報・情報提供を素早く行う
- 必要な場合は集団下校
- 保護者の協力を要請する

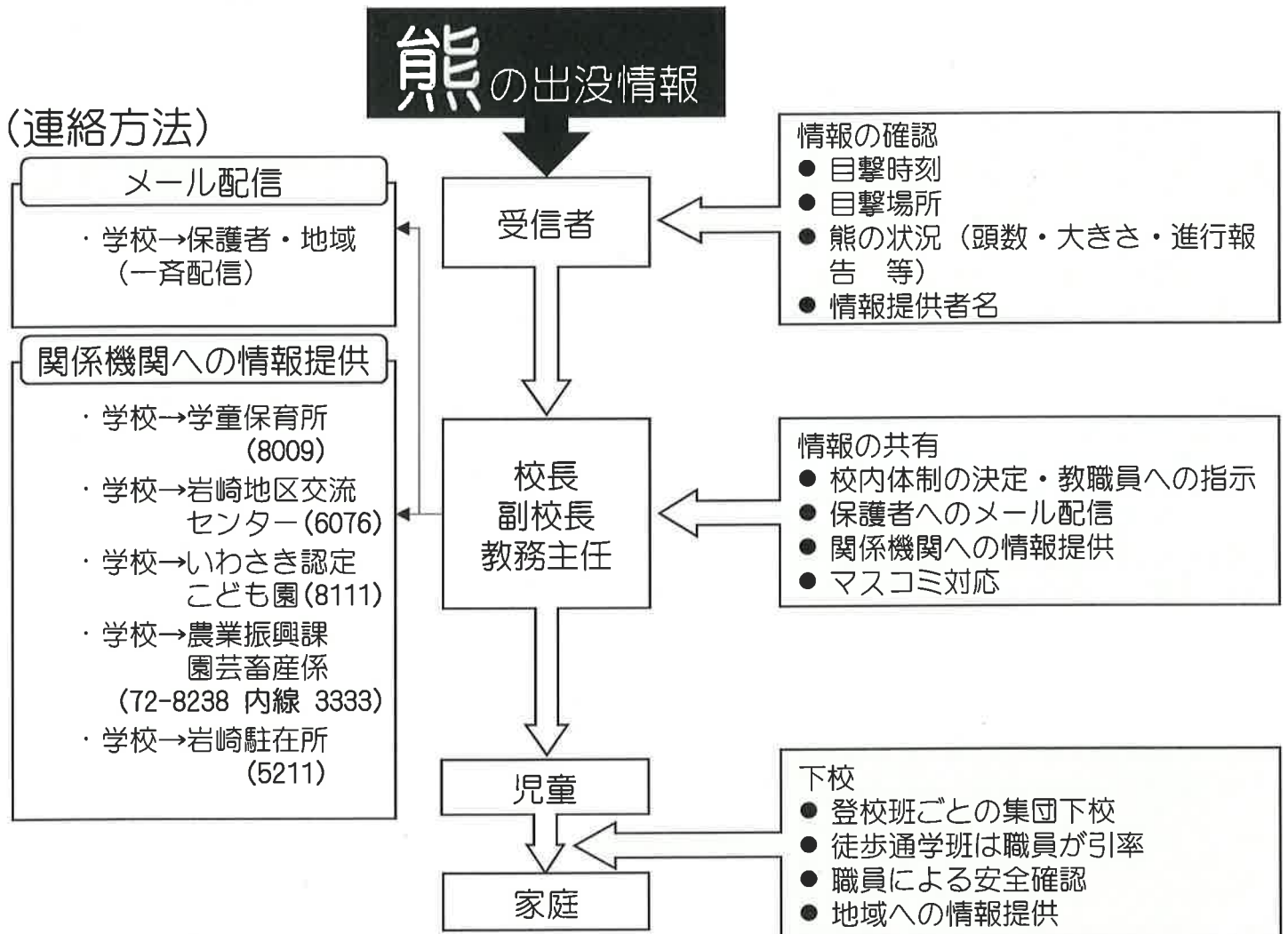
1 対応の概要



熊の出没に対する対応

- 基本対応**
- 出没情報受信日は、登校班による集団下校を原則とする
 - 出没情報は、児童・保護者及び関係機関へ速やかに提供する
 - 出没地域に対しては、まちcomiメールにより、学校またはバス停留所までの送迎を依頼する

1 対応の概要



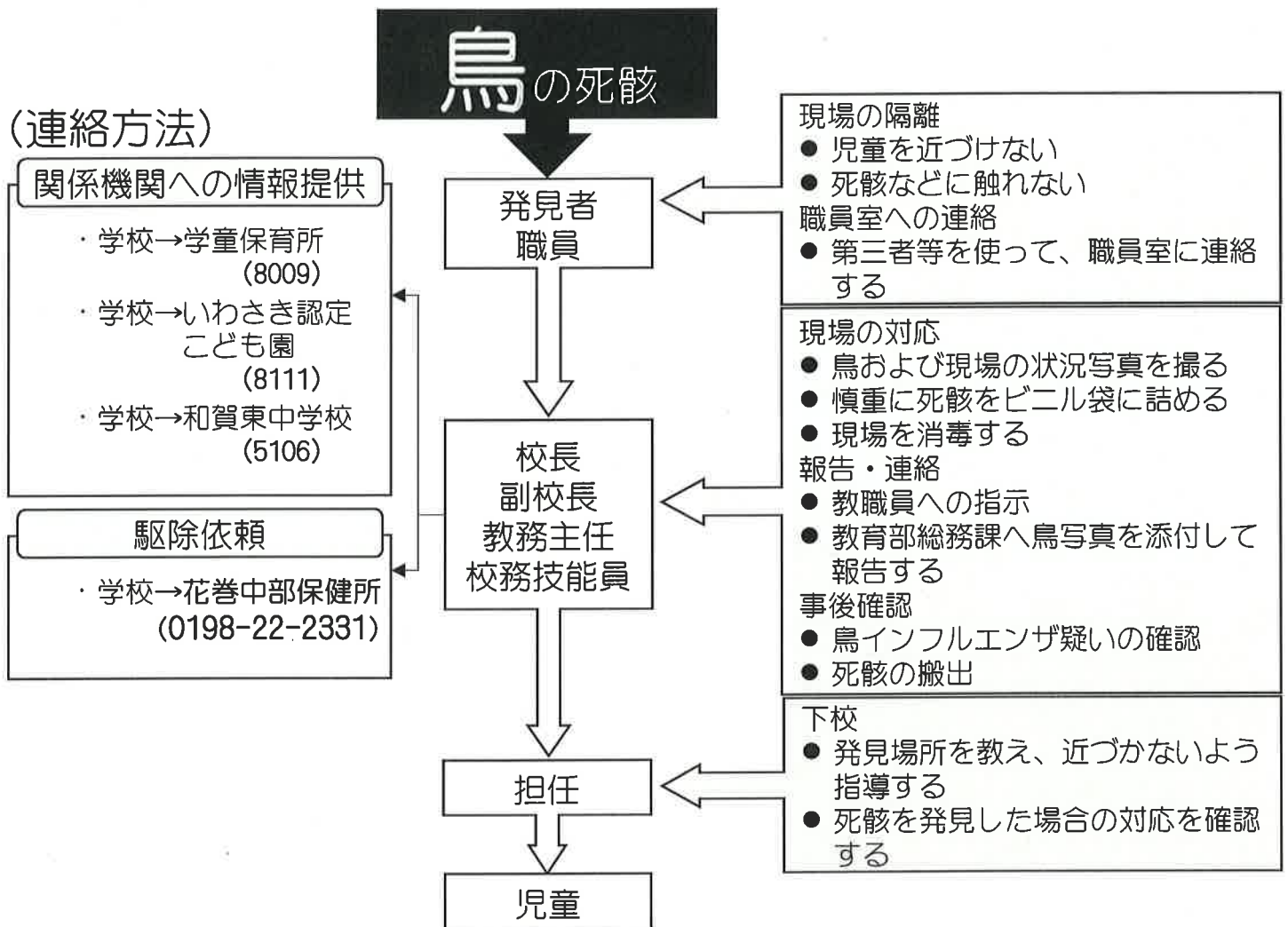
2 その他

- ア 児童には、熊の出没が懸念される期間中（4月から2学期終業式まで）は、熊鈴をPTAから貸与し、携行させる。
- イ 徒歩通学班の集団下校は、教職員が引率する。
- ウ 目撃情報が入り次第、可能な限り職員が現地での確認を行う。

鳥インフルエンザに対する対応

- 基本対応**
- 鳥の死骸を発見した者は、速やかに現場を隔離し、児童を近づけない
 - 鳥の死骸を発見した者は、第三者に知らせるなどして、職員へ連絡する。
 - 対応者は、死骸の除去にあたるとともに関係機関へ報告する。

1 対応の概要



2 その他

- ア 鳥インフルエンザの疑いがある場合は、市教育委員会・保健所の指示に従って速やかに全職員で対応する。
- イ 現場の消毒には、塩素系溶剤を希釈したものを使用する。
- ウ 必要に応じて、近隣の関係機関へ連絡する。

暴風・大雪警報・注意報を 入手した時の下校時の対応

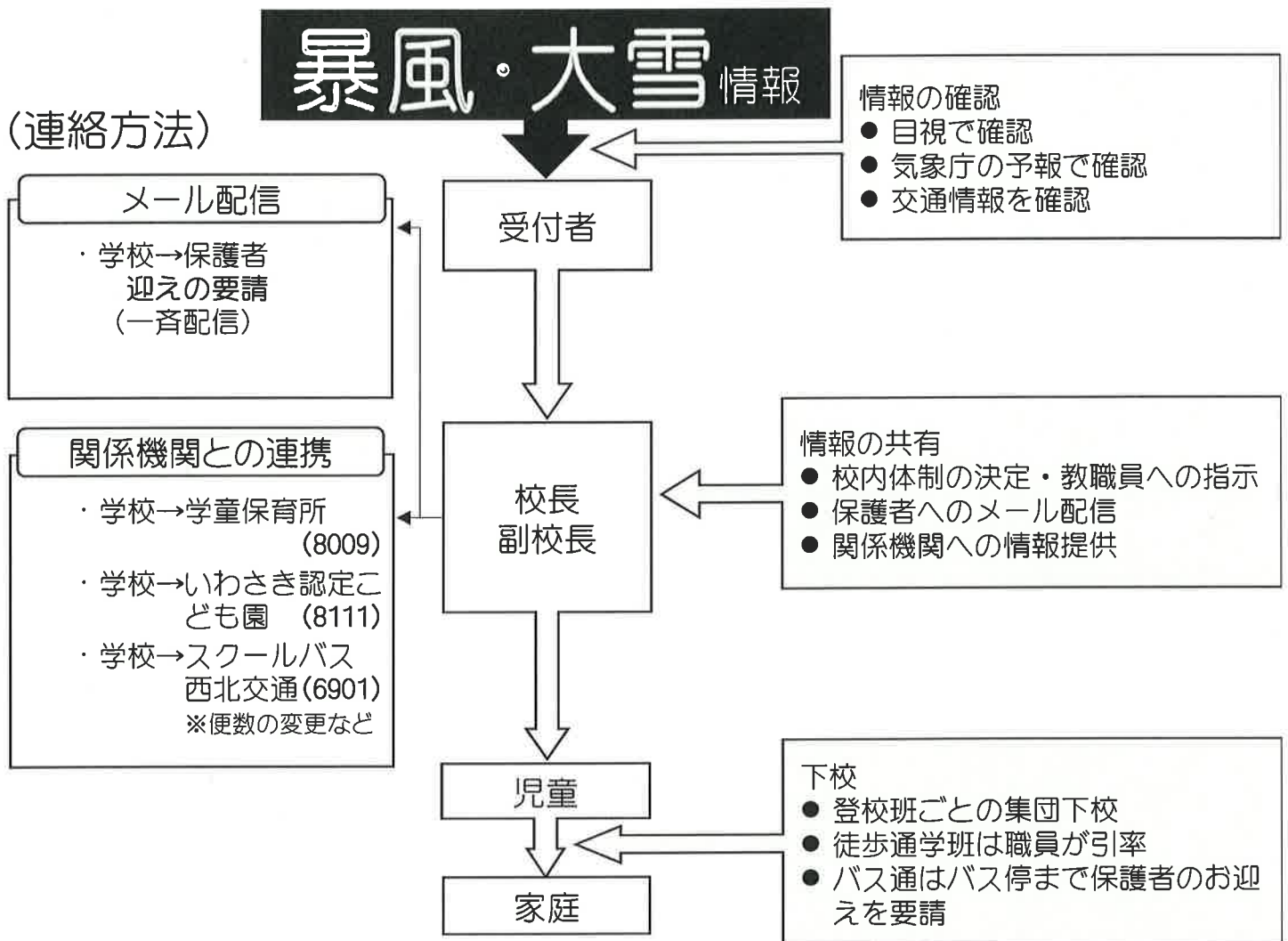
基本
対応

- 情報収集・情報提供を素早く行う
- 集団下校
- 保護者の迎えを要請する

集団下校

迎えの要請

1 対応の概要



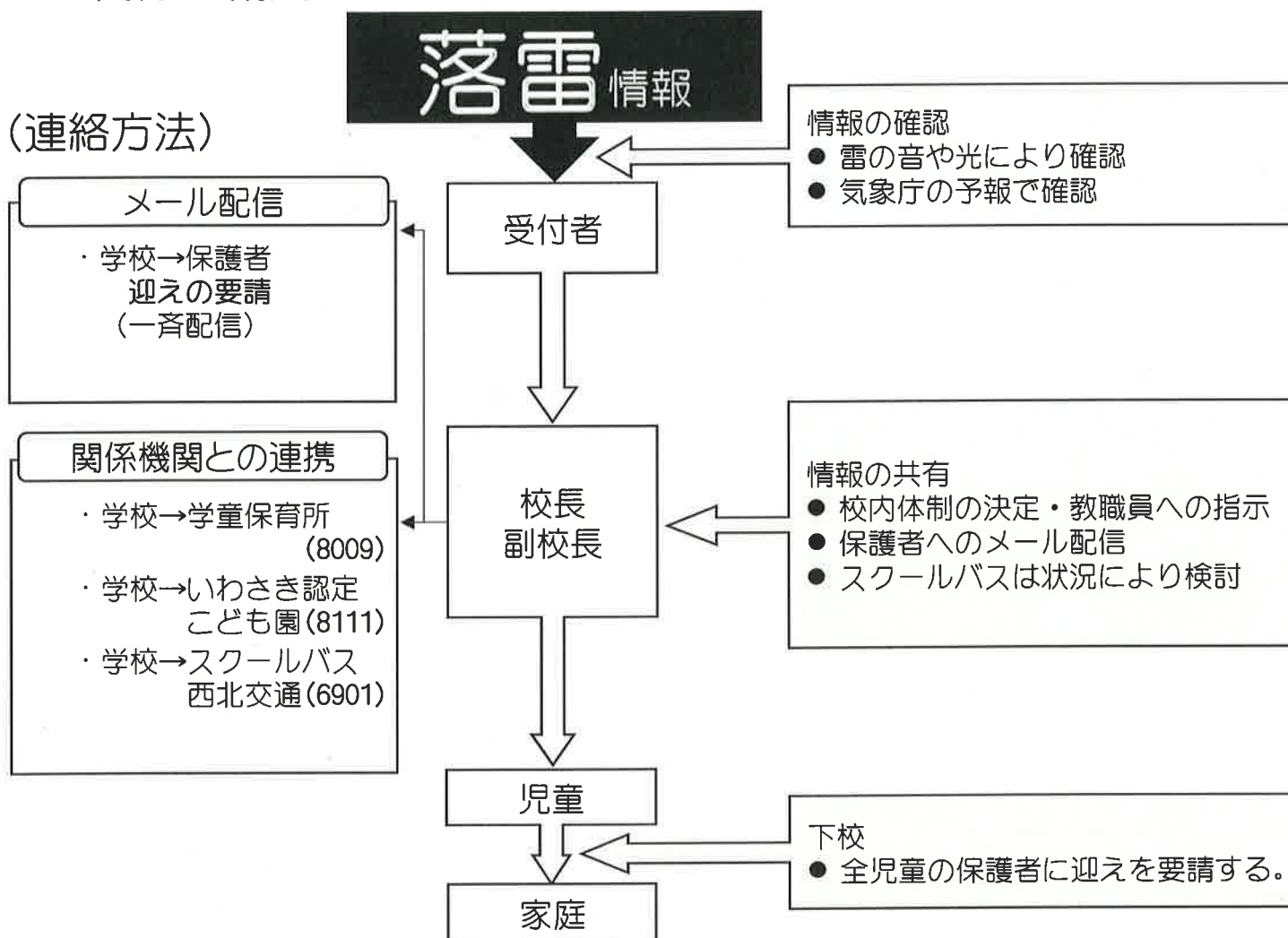
2 その他

- ア スクールバス会社と連絡を取り合い、運行の状況を把握する。
- イ バスが運行途中に何らかのトラブルで正常に運行できなくなった場合は、速やかに保護者に電話等でその旨を伝える。

落雷警報・注意報を入手した時の 下校時の対応

基本 対応	○情報収集・情報提供を素早く行う	全児童学校待機
	○全児童学校待機 ○保護者の迎えを要請する	迎えの要請

1 対応の概要



2 その他

- ア 児童は、地区毎に集合・整列させ、保護者の迎えを待たせる。
- イ 保護者の自動車は、岩崎地区交流センター側への一方通行とする。
- ウ 引き渡し名簿に記入する。

弾道ミサイル情報に係る緊急時の対応

基本
対
応

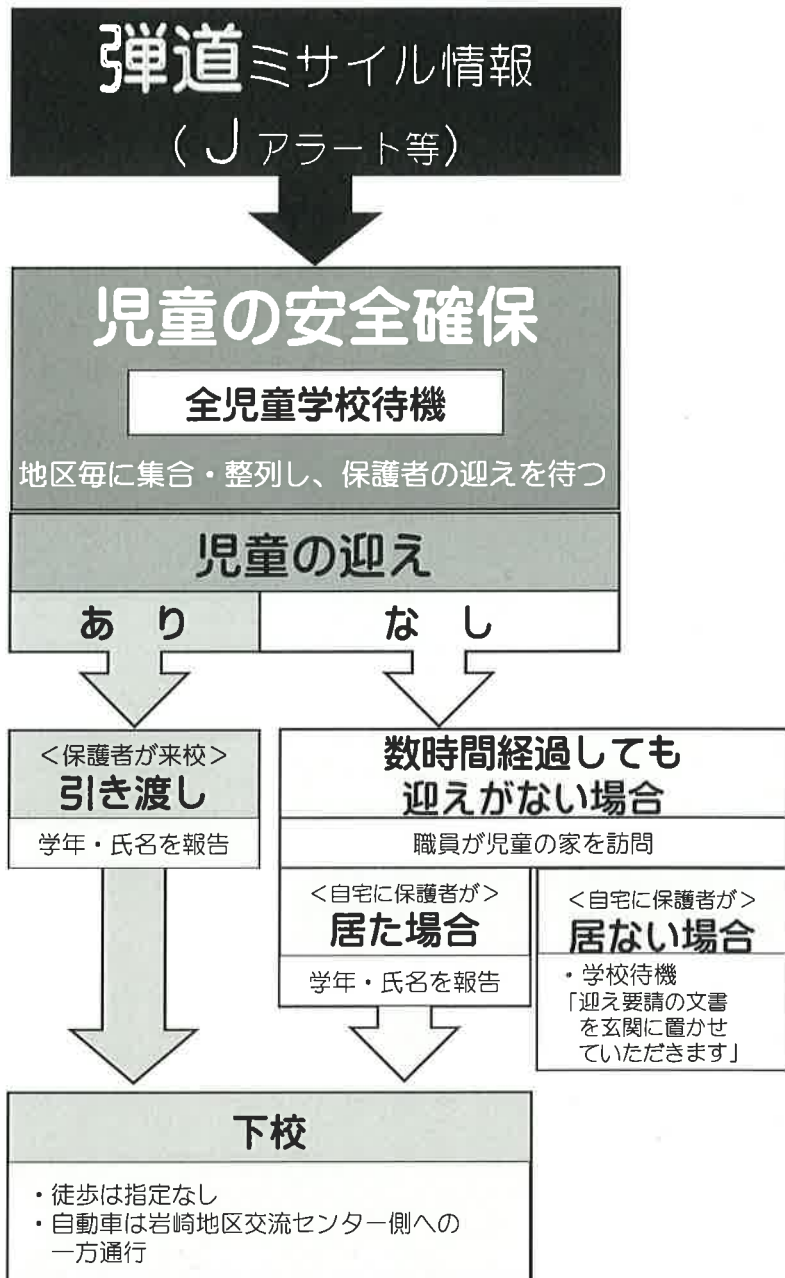
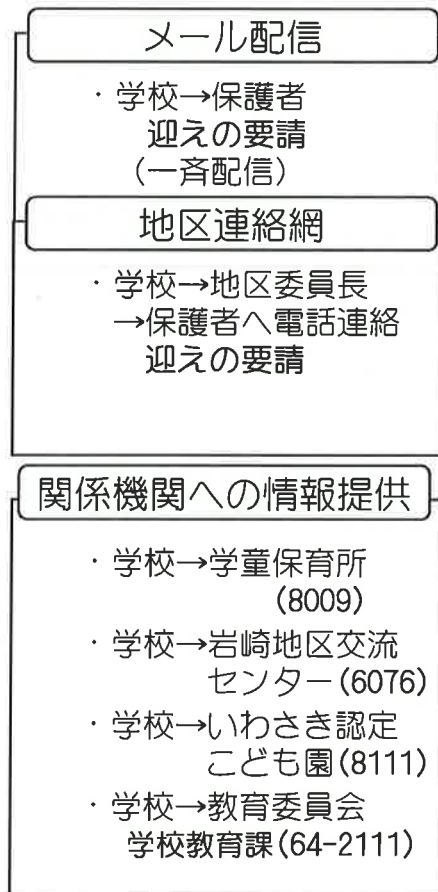
- 情報を入手するや否や直ちに多目的ホールに避難
- メールで緊急一斉送信・地区連絡網による電話連絡
- 保護者の迎えを要請
- 通過情報のあった場合は、通常の下校

全児童学校待機

迎えの要請

1 対応の概要

(連絡方法)



2 その他

在校時以外の場合については、保護者に次のように確認してある。

- ア 児童が登校前の場合は、自宅待機とする。「ミサイル通過情報」が入り次第、登校を再開する。
- イ 児童が登下校中の場合は、地域住民へ安全確保を依頼してあるので、地域住民の家に避難させてもらう。
- ウ スクールバスは、「ミサイル発射情報」で、一時停止し通過を待つ。通過が確認できたら運行を再開する。